

日本語・トルコ語電子辞書作成における問題点と解決に関する注意事項

Toplamaoğlu A. Kâmil

大阪外国語大学

日本語の常用5000語のトルコ語訳電子辞書とトルコ語による電子日常会話集のデータを作成した。作成の過程でさまざまな問題に遭遇した。本研究では、1)においてデータ作成中に出くわした問題点を挙げ、それぞれにとった解決策を述べる。また2)では、これらのデータを実際に取り込んで日本語トルコ語電子辞書及び電子会話集が作られる際に予測できる問題点とその解決策を提案として述べていきたい。

1) 日本語・トルコ語基礎単語辞書と日常会話集作成中の問題点

- ① トルコ語には今日まで概念として存在していない日本語特有な数々の単語がある。例えば、おにぎり、カラオケ、パソコン、新幹線、味噌、大根、すし、豆腐、「ご馳走様」、「いただきます」等多数。これらの単語を、日本語国語辞典を利用し、説明文の形をとることで表現した。

* トルコ語に獲得する方法

今後トルコ国内での度重なる日本文化の紹介、日本や日本語研究の浸透とともに、これらの単語の中には、トルコ語による新語作成、日本語を外来語としてトルコ語に獲得されるものも少なくないだろう。まだトルコ語の国語辞典には掲載されていないが、カラオケや、すしは既にトルコ人になじみの単語となっている。

- ② 日本語化した外来語のトルコ語訳に関しては、英語等の元の意味より日本語の意味を重視した。例を挙げると、ホームラン、パソコン、カレー、デート、タレント、コマーシャル、スーパー、セール、ドラマ、マスター、アクション、イニシャル、ビジネスホテル、カットなどである。
- ③ ひとつの日本語に対してトルコ語では複数の品詞（動詞や動名詞）訳が生じる場合、品詞を区別して表示した。

トルコ語には、語末が**-mek** で終わる動名詞と**-me** で終わる動名詞があります。日本語に訳すと何々することとなるが、文章の中でそれぞれ働きが違う。一方では、トルコ語動詞の辞書の見出し語も、語末が**-mek** で終わる。そこで、動名詞は**-me** のみで表示した。

さらに、異なる複数の意味を持つ日本語については、例えば、イエスの場合、‘イエス・クリスト’と‘はい’、そしてロックの場合、‘鍵’と‘ロックミュージック’とし、それぞれにトルコ語訳を表示した。

2) 日本語・トルコ語電子辞書作成に伴い予測される問題点とその解決策

トルコ語は膠着語である。特に短い文章の場合、その語順が日本語の語順と似ている

ため構文の翻訳は形態素解析によって質の高い翻訳は可能であるが、より正確な翻訳のためどうすべきか、以下に挙げる。

① 接尾辞における母音調和の反映

トルコ語の接尾辞や付属語の母音は、名詞及び動詞の語幹の最後の母音に従って変化する。語幹の最後の音に従って子音も変化する。また語幹が母音で終わるか子音で終わるかによって、現れたり消えたりする音もあるが、それぞれを予め認知させる必要がある。しかし、例外的な不規則な変化をする単語は、認知できない変化を行うため、変化の必要でない設定を登録すべきである。

② 動詞や名詞の活用における人称接尾辞を区別させる

トルコ語の文章では人称代名詞は動詞の人称接尾辞によって主語が明確になるので、強調もしくは対比の場合を除いて省略される。それに続く文章の主語も、日本語と同様、前の文章と同じであるため、動詞や名詞の活用において人称の区別は前文章と比較し行われる。

③ 複合名詞の品詞解析

A (名詞) の B (名詞) という修飾法によって、トルコ語には、A(n)in B(s)i と A B(s)i の二つのパターンがある。前者の場合 (以下、単に A(n)in B(s)i と記す)、A は所有格接尾辞を付し、B はそれを受けて所属人称接尾辞の 3 人称単数形をとる。後者の場合 (以下、単に A B(s)i と記す)、A は接尾辞をとらないが、B は所属人称接尾辞の 3 人称単数形をとる。

A は三人称である限り、A(n)in B(s)i では、所有格接尾辞の(n)in の働きは日本語の‘の’助詞と同じであるが、問題は‘の’は形容詞の後に付する場合生じる。A は名詞と認知される危険性があるからである。全形容詞は、辞書に登録し、日本語の‘A の B’はトルコ語で‘A B’と訳すようにする。

さらに、A B(s)i は日本語の二字以上の漢字が結合して一語をなす、いわゆる熟語と同質であるから、その語数が大量ではあるが、予め辞書に登録する必要がある。

おわりに

本研究では、日本語・トルコ語基礎単語辞書とトルコ語による日常会話集が電子辞書のデータとして使用される場合、考えられるいくつかの問題点を検討してきた。日本語・トルコ語電子辞書の作成に当たって、これらの問題を個別に詳細な検証を行う必要がある。

参考文献：

- [1] 勝田 茂、トルコ語文法読本、大学書林、昭和 61 年。
- [2] 林 徹、Aydin Yamanlar、トルコ語会話の知識、大学書林、平成 6 年。
- [3] 小川 泰弘他、“日本語ーウイグル語機械翻訳特有の諸問題について”、言語処理学会 第 9 回年次大会 発表論文集、2003 年 3 月。
- [4] 松本 裕治他、単語と辞書、岩波講座 言語の科学 3、1997 年。
- [5] 岩波 国語辞典 第四版
- [6] Kenkyusha's New Collegiate Japanese-English Dictionary 第 14 版
- [7] Redhouse English-Turkish Dictionary、Redhouse Yayınevi Istanbul